

目次

第1章

戦略の策定にあたって

1	生物多様性地域戦略策定の背景	2
	(1) 生物多様性とは	
	(2) 生物多様性保全の重要性	
	(3) 国内外の動き	
	(4) 生物多様性地域戦略の役割	
2	奄美大島生物多様性地域戦略の目的と位置づけ	8
	(1) 戦略の目的・性格	
	(2) 戦略の位置づけ	
3	戦略の体系と事業展開の考え方	9
	コラム 奄美大島の概要	10

第2章

奄美大島の生物多様性の特徴

1	生物の多様性が高い	14
2	固有種が多く存在する	15
3	奄美大島の特異な気候が生んだ希少な動植物が存在する	17
4	世界的に重要な生物多様性に富んだ自然がある	18
5	人と自然との関わりの中で培われてきた自然がある	20
	コラム 奄美大島における「自然共生サイト」の取組	21

第3章

奄美大島の生物多様性の保全及び利用上の課題

1	開発や自然の過剰な利用などの人間活動による影響	24
	(1) 生息・生育環境の改変や生物の違法な採集に起因する課題	
	(2) 配慮不足の自然利用に起因する課題	
	(3) 自然の管理方法に起因する課題	
2	人間活動と自然の関わりへの減少による影響	25
	(1) 里地・里山の機能の劣化に起因する課題	
3	人為的に持ち込まれた生物や物質による影響	26
	(1) 外来種による影響に起因する課題	
	(2) 環境汚染による影響に起因する課題	
	コラム マングースの根絶宣言	27
4	地球温暖化に伴う環境変化による影響	28
5	人の意識と社会経済の変化による影響	29
	コラム アラセツ行事	29
6	地域の暮らし・産業と希少種保護の両立	30

第4章

基本的事項と目標

1 基本的事項	34
(1) 対象区域	
(2) 計画期間	
(3) 基本理念	
(4) 基本方針	
コラム 「環境文化」とは？	35
2 目標	36
(1) 長期目標 (前戦略策定から50年後、2065年の奄美大島の姿)	
(2) 短期目標 (10年後、2035年の奄美大島の姿)	

第5章

重点施策

【重点施策1】 希少種の保全活動	42
(1) 希少野生動植物の盗採・盗掘防止のためのパトロール等監視の強化	
(2) 希少野生動物の交通事故対策	
(3) 希少種保全と地域の暮らしとの調和	
(4) 生物多様性モニタリング調査及び情報収集	
コラム 世界自然遺産を活かしたブランド化 徳之島の「アマミノクロウサギ共生たんかんジャム」	43
【重点施策2】 ノネコ、ノヤギ及び外来種対策	44
(1) ノネコ対策の強化	
(2) ノヤギ対策の強化	
(3) 外来種の駆除活動の支援・推進	
(4) 外来種の現状把握の推進	
【重点施策3】 重要な地域の保全・再生	46
(1) 既存の保護地域 (世界自然遺産地域、国立公園、天然記念物等) の保護管理の推進	
(2) 自然共生サイトの認定推進	
(3) 森林の再生と生物多様性に配慮した森林経営の推進	
(4) 里地・里山の保全・再生	
(5) マングローブ林の保全・再生	
(6) 里海 (海岸・藻場・サンゴ礁等) の保全・再生	
【重点施策4】 持続可能な観光管理の推進	48
(1) 奄美群島認定エコツアーガイド制度の運用とガイド利用者の満足度向上	
(2) 希少種の生息区域の利用ルールの策定と運用	
(3) 体験型観光の推進 (エコツーリズム、里のエコツアー等の推進)	

【重点施策5】 生物多様性に配慮した産業振興	49
(1) 特産品や農産物のブランド化による地域活性化の推進	
(2) 地産地消の推進	
(3) 地材地建の推進	
【重点施策6】 体験活動や住民参加型活動の推進	50
(1) 奄美の自然・歴史・文化などの学習機会の拡大(学校教育における機会拡大を含む)	
(2) 住民参加による生物多様性保全関連活動の推進	
【重点施策7】 環境文化の保全に向けた取組の推進	51
(1) 体験型観光の推進(里のエコツアーの推進)	
(2) 奄美の歴史・文化などの学習機会提供の検討	
(3) 住民参加による環境文化関連活動の推進	
(4) 環境文化に関する人材育成の推進	

第6章

行動計画

基本方針1 生物多様性の保全・管理	55
1 重要な地域の保全・管理	55
2 重要な生態系の保全と再生	56
3 野生生物の適切な保護と管理	57
(1) 希少種とその生息・生育地の保全	
(2) 鳥獣の管理	
(3) 外来種の防除	
4 地球温暖化対策の推進	60
5 生物多様性の保全に配慮した環境整備の推進	61
基本方針2 生物多様性と環境文化の持続可能な利活用	62
1 生物多様性の保全に配慮した農林水産業の展開	62
(1) 林業における取組	
(2) 農業における取組	
(3) 水産業における取組	
2 生物多様性の保全に配慮した観光業の展開	64
3 生物多様性の保全に配慮した地域振興	65
基本方針3 自然共生社会を構築するための仕組づくりと人材育成	66
1 多様な主体の参画促進	66
2 人材の育成と活用	67
3 情報の収集・発信	68

第7章

推進体制と進行管理

1	戦略の推進体制	70
2	各主体の役割	71
	(1) 奄美大島自然保護協議会・市町村	
	(2) 国・県等の行政機関	
	(3) 企業・事業者	
	(4) エコツアーガイド	
	(5) 環境NPOなど各種活動団体	
	(6) 教育機関	
	(7) 学識者・研究機関	
	(8) 住民・来訪者	
	コラム 民間を含む多様な主体の連携による生物多様性保全	76
3	戦略の進行管理	77
	(1) 進捗状況の把握及び公表	
	(2) 戦略の見直し	

第8章

資料編

1	奄美大島における希少野生動植物の指定状況	80
2	奄美大島・徳之島からの動植物持ち出しに関する共同文書	81
3	奄美大島で確認されている対策が必要な外来種	83
4	奄美大島の重要湿地	87
5	奄美大島の干潟	88
6	文化財の指定状況	89
7	奄美の民謡(島唄)に現れる自然	90
8	奄美の歴史年表	92
9	奄美大島における主な自然ふれあい・環境文化関連施設	94
10	短期目標達成状況の指標(例)	96
11	奄美大島生物多様性地域戦略 策定から改定までの経過	109
12	関係者名簿	111